# 令和５年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和５年 10 月 10 日
枚方市立菅原小学校

文部科学省が今年４月に実施した、令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について、全国を基準とした経年推移等によって、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、児童の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

## 【全体概要】

※調査結果について
教科や出題範囲が限られていることから、
全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部分です。

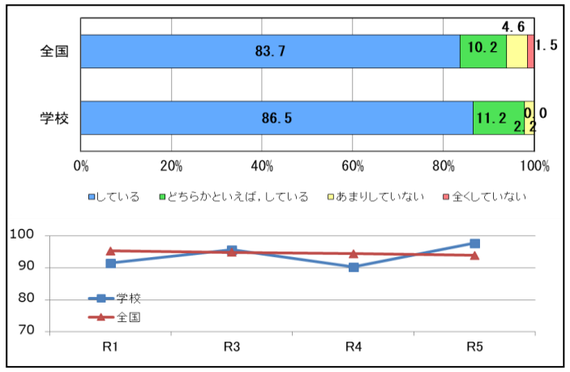
## 質問紙調査の結果

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は 100 にならない場合もあります。

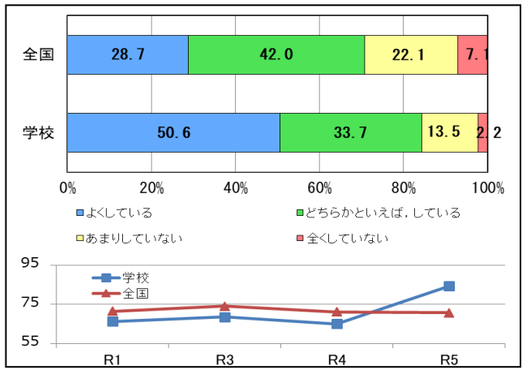
質問紙調査結果の中から、主な項目について、本校と全国の経年比較をお知らせします。

全国
本校

朝食を毎日食べている



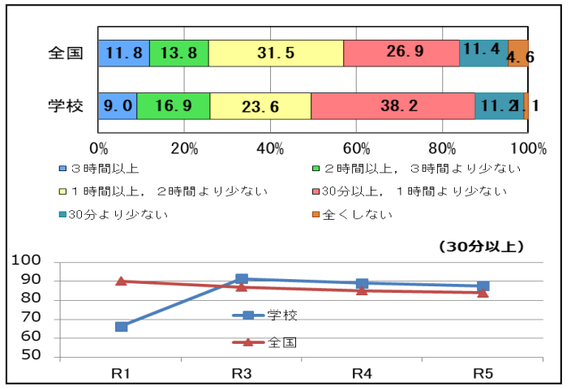

家で計画を立てて勉強している



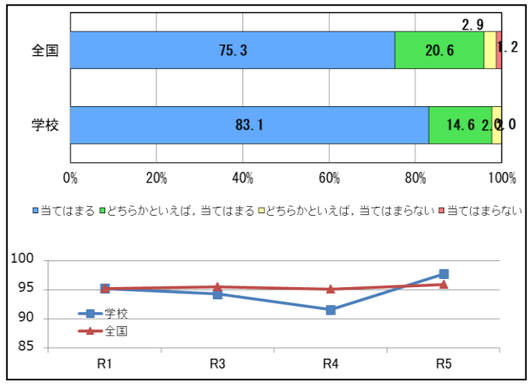

## 質問紙調査の結果

全国
本校

授業時間以外（月～金）勉強時間




人の役に立つ人間になりたいと思う




## <質問紙調査結果の概要>

・95%以上の児童は、毎日、朝食を食べています。
・家庭で計画的に学習に取り組むことについて、約 85%の児童が主体的に取り組むことができています。その学習時間については、30 分～1 時間が約４割を占め、30 分以上学習に取り組んでいる児童の割合は全国平均よりも少し多くなっています。
・「人の役に立つ人間になりたい。」と意欲を持っている児童数がかなり増加し、全国平均よりも上回っています。

## まとめ

朝食を摂取している児童数が約 95%を示し、家族と共に健康的な生活習慣の基盤の定着が図られています。今後も継続して健康的な生活の基盤づくりとしての朝食摂取の継続をお願いしたいと思います。また基本的な生活習慣の定着が子どもの様々な意欲にも大きく影響し、「主体的に計画して取り組む姿勢」や「人の役に立つ人間になりたい」という思いから「社会貢献できる仕事」等の将来の夢や目標に繋がることが期待できます。その実現に向けて、今を主体的に生きる意欲や行動力が育めるよう努めていきたいと思います。
・基本的な生活習慣を大切にし、自ら進んで挨拶する姿勢を育む。
・将来に夢や希望を抱き、前向きな姿勢で主体的に行動する態度を育む。
・心身ともに健康で、人のために行動する姿勢や思いやる心を育む。
保護者及び地域の皆様と連携し、教育活動を推進し、児童の育成に努めてまいりたいと思います。

※次ページ以降に、「各教科に関する調査」「質問紙調査」における詳細な結果について公表しております。

# 【詳細について】

## 教科に関する調査

＜国語＞

成果や課題があった設問

【成果】2三

「情報をどのように整理しているか」について説明された4つの文から最も適切なものを選ぶ問題

三　相田さんは、食事の面から健康について考えている友達の話を聞いて、【資料3】に興味をもちました。次は、相田さんが、四角や丸で囲んだり線でつないだりして整理している【資料3】です。相田さんは、何をどのように整理していますか。その説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　自分にとって分からない言葉を四角や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

2　自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

3　自分にとって分からない言葉を四角や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

4　自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

【資料3】相田さんが書きこみをしたパンフレットのページ

**栄養素の働き**

規則正しく食事をとることにより、脳が活発に働いたり、元気に運動したりすることができます。ただし、同じものや好きなものばかり食べていると、栄養がかたよってしまい、つかれやすくなったりいらいらしたりします。

食品は、栄養素のおもな働きによって、下のように、おもに三つのグループに分けることができます。

米やパンなどは、主にエネルギーのもとになります。肉や卵などは、主に体をつくるもとになります。筋肉がついたり、けがが治りやすくなったりします。野菜や果物などは、主に体の調子を整えるもとになり、病気にかかりにくくなります。

〈栄養素の主な働きと食品の例〉

| 2三 | 正答率 | 無解答率 |
|---|---|---|
| 本校 | 72.0 | 3.7 |
| 全国 | 62.0 | 1.6 |

（考察）2 三
①資料3「栄養素の働き」について書かれている内容全体を的確に読み取ること
②四角や丸で囲まれている語句の意味が理解できること
③選択肢の文を理解できること
が求められています。

それらができていることが、全国比で約10%高い正答率となったと思われます。

【課題】3−(1)

【インタビューの様子】の全文を読み、傍線部アのように質問した理由として適切なものを選択する問題

3

谷さんの学級では、学校ボランティアの人たちを全校にしょうかいするために、自分の相手を決めてインタビューをすることにしました。次は、【谷さんの考え】と【インタビューの様子】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【谷さんの考え】

学校ボランティアの中で、登下校でお世話になっている見守りボランティアの方は、毎朝早くから大変そう。どうして続けているのだろう。私の通学路に立ってくださっている寺田さんと山本さんにインタビューをして、お二人の思いを聞いてみよう。

谷さん

【インタビューの様子】

谷さん　こんにちは。いつも私たちの登下校を見守ってくださり、ありがとうございます。今日は、お二人からお話を聞きたいので、どうぞよろしくお願いします。お二人は、毎朝七時三十分から活動されているそうですね。大変ではありませんか。

寺田さん　確かに朝早いのは大変です。でも、私は、子供たちに安全に登下校をしてほしいと思っているのです。

山本さん　私は、最近この地域に住むようになり、見守りボランティアを始めました。慣れないうちは大変でしたが、今では元気をもらっています。

谷さん　そうなのですね。元気をもらっているということについて、もう少しくわしく教えてください。

山本さん　子供たちから、「いつも見守ってくれてありがとう。」と声をかけてもらうことがあり、そんなときは元気が出てきます。町で出会った保護者の方が、「いつもありがとうございます。」と言ってくださることもあり、やりがいを感じています。

谷さん　アやりがいというのは、ボランティアをやっていてよかったということだと思いますが、合っていますか。

山本さん　はい、そのとおりです。ボランティアをやって本当によかったと思っています。子供たちの安全を守るために、役に立っていると感じられるので、大変さよりもやりがいのほうが大きいです。

谷さん　なるほど。そうなのですね。

寺田さん　私も子供たちが安全に登下校している様子を見るとうれしくなり、やりがいを感じます。子供たちのすてきな姿を見たときには、さらにうれしい気持ちになり、ボランティアをしていてよかったなと思います。

谷さん　イすてきな姿というのは、どのような姿ですか。

寺田さん　一人で下校する友達に声をかけている姿や、上級生が下級生の手を引いて歩いている姿などです。そんな姿を見ると、とてもうれしい気持ちになります。

谷さん　そんなふうに言っていただけて、私もうれしいです。はじめは、見守りボランティアの仕事は大変なことばかりだと考えていましたが、全校のみんなに伝えたいです。ありがとうございました。

一　【インタビューの様子】で、谷さんが、――――部アと――――部イのように質問した理由について、次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1)　谷さんが、――――部アのように質問した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　相手の活動の予定を、より具体的に知るため。

2　相手の話の内容を、より具体的に知るため。

3　自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるため。

4　自分の行動が可能かどうかを相手に確かめるため。

| 3―(1) | 正答率 | 無解答率 |
|---|---|---|
| 本校 | 65.9 | 7.3 |
| 全国 | 73.6 | 3.7 |

（考察）3-(1)
①「インタビューの様子」について書かれている内容全体を的確に読み取り、理解すること
②選択肢の文の少しの語句の違いがキーワードとなっていることや文全体を理解すること
が求められています。

国語の授業を中心として、「読む取る力」や「文章のキーとなる語句に対する気づきや理解」等の向上に繰り返しの学習が必要であると考えています。

無回答率については、今後の課題として、認識しています。

＜算数＞

成果や課題があった設問

【成果】4（2）

「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができるかどうかをみる問題

(2) あいかさんたちは、５年生と６年生が 30 分以上の運動を週に何日しているのかを調べてみたいと思い、委員会の活動として**運動カード**を作りました。

あいか　５年生と６年生に**運動カード**を配って、運動した時間を記録してもらいましょう。

下の**運動カード**は、あいかさんが５月９日から５月 15 日までの１週間に運動した時間を記録したものです。

**運動カード**

| 日にち | 運動した時間（分）：体をのばす・ほぐす運動 | 道具を使った運動 | 走る運動 | 縄とび | ボールを使った運動 | その他 | 運動した時間の合計（分） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5/9（月） | 10 | | | | 25 | | 35 |
| 5/10（火） | 5 | | | 10 | 15 | 10 | 40 |
| 5/11（水） | 10 | | | 5 | | 15 | 30 |
| 5/12（木） | 5 | | | 10 | | | 15 |
| 5/13（金） | 5 | | | | | 10 | 15 |
| 5/14（土） | | | 20 | | 35 | | 55 |
| 5/15（日） | | 10 | | | 35 | | 45 |

あいか　**運動カード**を見ると、運動した時間の合計が 30 分以上になった日もならなかった日もありました。

左の**運動カード**で、運動した時間の合計が**30分以上になった日数**は、全部で何日ありますか。

答えを書きましょう。

| 4（2） | 正答率 | 無解答率 |
|---|---|---|
| 本校 | 76.8 | 6.1 |
| 全国 | 75.7 | 4.3 |

（考察）4（2）
①「運動カード」の見方
②「～以上」の意味を含めて、設問の意味を確実に理解し、「運動カード」を読み取ることができることが求められています。

それらができていることが、正答率に繋がっていると思います。
ただし、無回答率については、今後の課題と認識しています。

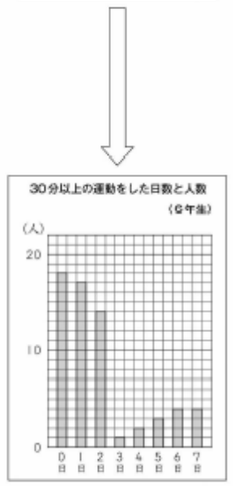
【課題】4（3）

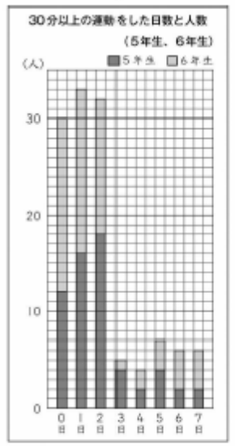
示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる問題

(3) あいかさんたちは、５年生と６年生に**運動カード**を配って調べた結果をポスターにのせるために、30 分以上の運動をした日数と人数をグラフに表すことにしました。

あいか　自分の学年である６年生の結果を表しました。

はやと　５年生と６年生を合わせた結果を表しました。




あいかさんたちは、左の２つのグラフをもとに、気づいたことについて話し合っています。

あいか　どちらのグラフも「０日」、「１日」、「２日」の人数が多いということが同じですね。

はやと　でも、２つのグラフをくわしく見ると、ちがうところもありますね。

そこで、あいかさんたちは、日数に着目して、２つのグラフのちがうところを、次のようにまとめました。

**【「０日」についてまとめたこと】**

「０日」に着目すると、次のようなちがいがあります。
６年生のグラフでは「０日」の人数が１番目に多く、５年生と６年生を合わせたグラフでは「０日」の人数が３番目に多いです。

**【「０日」についてまとめたこと】**と同じように、**「１日」**に着目してまとめると、どのようになりますか。

下の［　　］の中に、「６年生のグラフ」、「５年生と６年生を合わせたグラフ」、「番目」の３つの言葉と数を使って書きましょう。

**【「１日」についてまとめたこと】**

「１日」に着目すると、次のようなちがいがあります。

※　解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

| 4（3） | 正答率 | 無解答率 |
|---|---|---|
| 本校 | 43.9 | 22.0 |
| 全国 | 56.2 | 13.8 |

（考察）4（3）
①「6年生の結果を表した棒グラフ」と「5年生と6年生を合わせた結果を表した棒グラフ」の見方
②「0日についてまとめたこと」の内容の理解
③「0日についてまとめたこと」を参考にした「1日についてまとめたこと」を記述する力
が求められています。

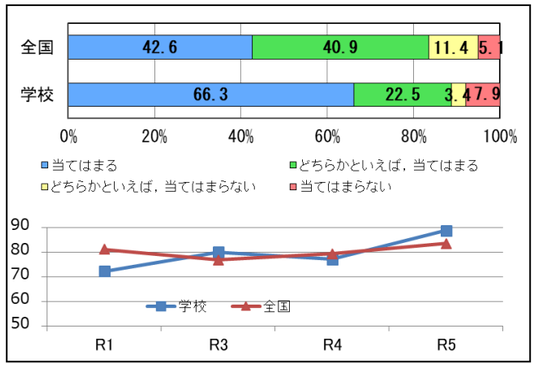
特に、無回答率から、グラフを読み取り、理解し、文章で表現することの戸惑いや難しさを顕著に表していると思います。

# 質問紙に関する調査

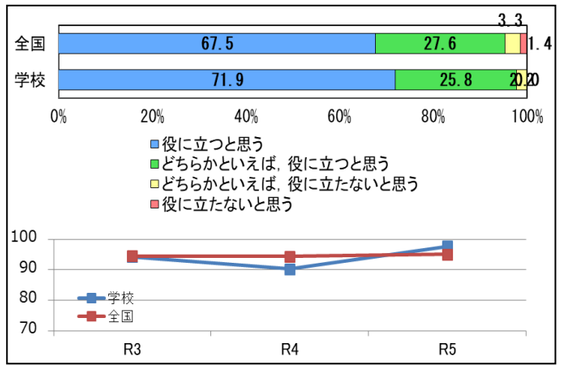
※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は 100 にならない場合もあります。

## 【成果のあった項目】

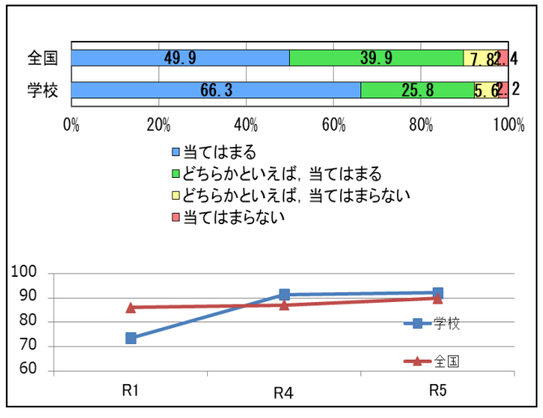
自分には、よいところがあると思う



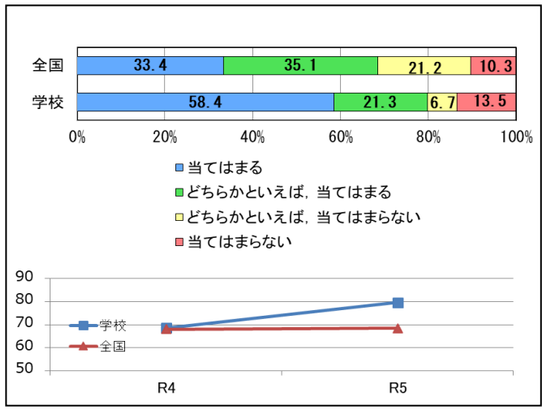

学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか




先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



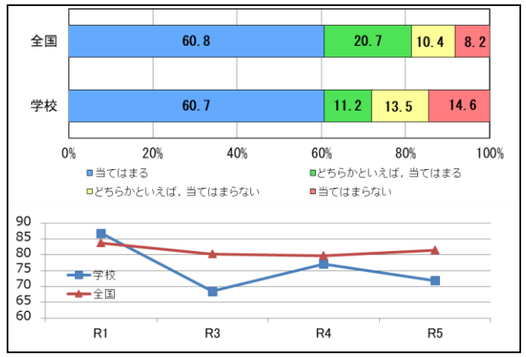

困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



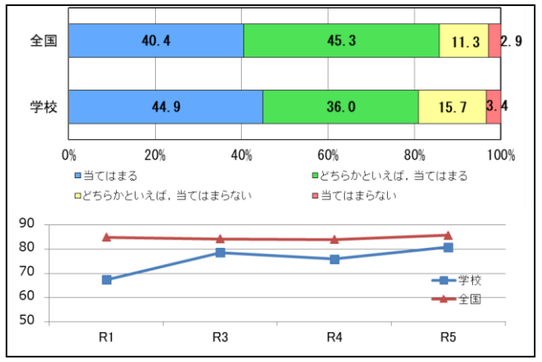

（考察）
・学習活動の中でタブレット端末や ICT 機器の活用について、日々の教員の指導（使用）方法の工夫等により、児童の技量だけでなく、主体性や意欲も向上し、効率的、効果的な学習に繋がっていると思われます。
・学校での日々の活動や児童との関わりやコミュニケーション等を取る中で、児童と教員との安心できる人間関係、及び信頼関係を育み、「よいところを認めてくれると感じる」そのことが「相談できる」先生としての関係が築かれていると思います。
・「自分には、よいところがある」という自尊感情・自己肯定感は、日々の各家庭での保護者の皆さんの児童への関わりを通して育まれてきているものであり、また、学校のすべての教育活動を通して、育まれるものであります。児童との信頼関係を基盤として、様々な教育活動の中で「自分で考え、自分で決め、自分の意思に沿ってやる」という行動を通して、習慣化する中で「主体的」「意欲的」に行動するよう、「前向き・積極的な」イメージを持つことができるよう、今後も保護者の皆さんと連携し、継続して児童への教育を進めていきたいと思います。

## 【課題が残った項目】

将来の夢や目標を持っている




国語の授業の内容はよく分かる




（考察）
・様々な教育活動を通して、将来を見据えた目標を達成する上で重要な基礎となる「人格面・精神面・技量等」を児童が主体的に意欲を持って育めるよう努めていきたい。
・児童の国語の授業内容の理解状況は、本テストの無回答率に表れていると判断しています。児童の「書くこと」への抵抗を無くすことを優先課題と判断し、本校の本年度の研究テーマとして、「書くこと」に焦点を絞り、自分の考えを表現する力の育成に努めています。

## 分析結果を踏まえて今年度中に取り組んでいくこと

（1）授業改善について
・本年度からの研究テーマとして、「書くこと」に重点をおいた授業に取り組んでいます。
「作文」を通して表現する力を養い、教科横断的に資料から読み取れることを適切な言葉で表現する活動を増やしていくための指導方法や内容等について、研修・授業研究を開催し、研究を深めています。
・教員が相互に授業交流し、授業力の向上に取り組んでいます。
・『Hirakata 授業スタンダード』に則して、「思考を促すめあて」を提示し、「個別の気づきや新たな課題を引き出す振り返り」の時間を確保しています。
・『枚方版 ICT 教育モデル』に則して、5つの C の視点を単元計画に組み込み、課題を解決するために柔軟なアイデアを表現したり、アイデアを相手と共有したりすることでより深まりのある授業の展開に努めています。
・子どもたちが主体的に、自らの興味・関心にそって自分にあった方法、学習過程、学習形態等を自己決定する場面を設定したり、1人1台端末を活用し、各自で「他者参照」しヒントを得て、自らの学びを高めていけるように取組んでいます。
・自分と異なる考え方を持つ人を尊重し、認め合いながら協力して取組むことができるような協働探求や協働制作の活動を様々な教科において計画的に設定し、取り組んでいます。・

（2）家庭学習について
・発達段階を考慮に入れ、基礎基本の確実な定着と共に、児童が自らの課題を振り返り、主体的に学習する取組を進めています。その内容については、タブレット上で、学年を越えて取組内容を共有し、児童が自分なりに工夫したり、オリジナリティ溢れる課題を模索したりするように進めています。
・児童自身が学びの見通しを持ち、学びの方法や進度を選択し、自己の学習の振り返りを行うことや、同じ教室の仲間と学びや生活を共有し、互いに成長できる機会を設けています。

最後に、子どもたちの将来に向けて、今後も全教職員で力を合わせ、より良い教育活動の推進に努めてまいります。保護者の皆さまの引き続きのご理解、ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。